



2011年12月12日

各 位

会 社 名 東レ株式会社
コード番号 3402
代表者名 代表取締役社長 日覺 昭廣
問 合 せ 先 広報室長 中山 喜昭
TEL (03) 3245-5178

タイ大規模洪水の影響に関するお知らせ（第5報）

タイ国における豪雨により発生した大規模洪水による東レグループへの影響について、現時点の状況を下記の通りお知らせします。（ 線部分が新規情報です。）

記

1. 被害・稼働の状況

10月6日夜に稼働を停止したタイ・トーレ・シンセティクス(TTS)社のアユタヤ工場は、11月28日から復旧作業を開始しました。同工場については、2012年3月末からの稼働再開を見込んでいます。

同社バンコク工場については、工場近隣地域における浸水を受けて10月26日から稼働を停止していましたが（工場浸水なし）、11月17日から復旧作業を開始し、12月1日から稼働を再開しました。

ナコンパトムにあるタイ・トーレ・テキスタイル・ミルズ(TTMM)社とTTS社の工場についても、同様の理由にて11月1日から稼働を停止していましたが（一部浸水）、TTMM社は11月21日から、TTS社は12月4日から稼働を再開しました。

TTS社アユタヤ工場とナコンパトム工場の浸水による物的損害以外、グループ関係会社や工場において、洪水による物的・人的被害は発生していません。

なお、これまで一時帰国していた東レからの出向社員は全員11月17日までに現地に復帰しました。帯同家族についても順次タイに帰国しています。

2. 繊維製品（原糸）の供給対応

上記工場の稼働停止に伴う繊維製品（原糸）供給への影響に対しては、東レグループ各社による増産、品種代替等で対応していますが、TTS社から日本市場向けの原糸輸入量はこれまで少なかったこともあり、国内市場向け供給への影響はほとんどないものと見込んでいます。

具体的には、当社の国内4工場（三島、石川、愛知、岡崎）において可能な限り増産を進める一方、インドネシア、韓国、および中国の海外関係会社とも連携し、東レグループのグローバル生産体制の強みを活かすことで、製品の安定供給体制を維持してまいります。

なお、その他製品についても影響に応じて対応中です。

3. タイ国における当社グループ会社（5社8工場）

【トーレ・インダストリーズ（タイランド）

[Toray Industries (Thailand) Co., Ltd. (TTH)]]

- (1) 本社所在地 : バンコク
- (2) 代表者 : 山下 康夫
- (3) 従業員数 : 6名
- (4) 事業内容 : タイ国事業の統括

【タイ・トーレ・シンセティクス [Thai Toray Synthetics Co., Ltd. (TTS)]]

- (1) 本社所在地 : バンコク
- (2) 代表者 : 宮石 和彦
- (3) 従業員数 : 約800名
- (4) 事業内容 : [バンコク工場] 衣料用および産業用のナイロン糸・ポリエステル糸、
ナイロンおよびPBT樹脂コンパウンド
[アユタヤ工場] 産業用ナイロン糸、衣料用ポリエステル糸
[ナコンパトム工場] 蒸着フィルム、無延伸ポリプロピレンフィルム

【タイ・トーレ・テキスタイル・ミルズ

[Thai Toray Textile Mills Public Co., Ltd. (TTTM)]]

- (1) 本社所在地 : バンコク
- (2) 代表者 : 真鍋 祐一
- (3) 従業員数 : 約700名
- (4) 事業内容 : [ナコンパトム工場] ポリエステル/レーヨン混紡糸の紡績・織布・染色
および仮撚・丸編・経編・起毛

【ラッキーテックス（タイランド） [Luckytex (Thailand) Public Co., Ltd. (LTX)]]

- (1) 本社所在地 : バンコク
- (2) 代表者 : ワルン ラオイッティ
- (3) 従業員数 : 約2,400名
- (4) 事業内容 : ※いずれも所在地はバンコク
[第1工場] ポリエステル/綿混紡糸の紡績・織布
[第2工場] ポリエステル/綿混紡織物、
ポリエステル長繊維織物染色
[第3工場] ポリエステル長繊維織物、デニム、エアバッグ基布

【タイ・ペット・レジン [Thai Pet Resin Co., Ltd. (TPRC)]]

- (1) 本社所在地 : バンコク
- (2) 代表者 : 園部 文夫
- (3) 従業員数 : 約100名
- (4) 事業内容 : [ラヨーン工場] ボトル用PET樹脂

以上